






たねと食とひと@フォーラム発行冊子の紹介

1	<p>ミニ冊子「すべての食品にトレーサビリティを～法制化の必要性」 A6版 頒価100円 2022年5月発行</p> <p>トレーサビリティってなあに? / なぜトレーサビリティが必要なのか? / あったらよかったのに... / 食品トレーサビリティの法制度比較 / 日本の食品事業者における基礎的なトレーサビリティの現状 / より高度なトレーサビリティを自主的に実践している企業の方に聞きました。石井食品株式会社・マルハニチロ株式会社 / 私たちの提案</p>	
2	<p>連続講座<<国連「小農宣言」「家族農業の10年」に学ぶ ~農と食から新しい社会をつくる~>>報告書 A4版 頒価1,000円 2021年3月発行</p> <p>はじめに / 第1回2020年10月17日「小農宣言」「家族農業の10年」の理念 池上甲一 / 第2回2020年11月7日 国際的潮流から日本の農と食の未来を考える 関根佳恵 / 第3回2020年12月12日 農業が育てる美~日本農業のこれから~ 飯野芳彦 / 連続講座を終えて</p>	
3	<p>ミニ冊子「ゲノム編集食品が食卓へ～表示とトレーサビリティの必要性」 A6版 頒価100円 2020年9月発行</p> <p>遺伝情報を変えるルール / ゲノム編集食品っていいことばかり? / 私たちの提案</p> <p>監修: 塚谷裕一 東京大学大学院理学系研究科教授・同附属植物園園長。</p>	
4	<p>ゲノム編集食品が食卓へ～表示とトレーサビリティの必要性～ A4版 頒価1,000円 2020年2月</p> <p>シンポジウム「ゲノム編集食品が食卓へ～表示とトレーサビリティの必要性～」2020年2月24日開催</p> <p>目次 はじめに / 問題提起「ゲノム編集の健全な利活用のためには」塚谷裕一 / 問題提起「ゲノム編集食品～表示のあり方を考える」石井哲也 / 報告「ゲノム編集高ギャバトマトの商品化に向けて」竹下達夫 / 報告「ゲノム編集食品の流通が始まっているアメリカを取材して」水野雄太 / 報告「トマトジュース原材料調査」中野陽子 / パネルディスカッション / 会場からの質問への回答 / 参考資料</p>	
5	<p>種子法廃止後のたねのゆくえ その2 A4版 頒価1,000円 2019年12月発行</p> <p>たねと食とひと@フォーラム2019年度総会 2019年6月29日開催</p> <p>記念講演&主要農作物種子法廃止後2年目の措置に関するアンケート結果報告書</p> <p>目次 はじめに / 講演1「農業のあり方、消費者・市民の関わり方を考える」久野秀二 京都大学教授 / 講演2「採種権利を守るためにできること～たねは誰のものか?」岡本よりたか「たねのがっこう」主宰 / 調査結果報告 主要農作物種子法廃止後2年目の措置に関するアンケート / 参考資料・たねと食とひと@フォーラム活動報告 / 2019年9月末現在の法制度及び条例制定状況</p>	

たねと食とひと@フォーラム発行冊子の紹介

6	<p>市民が追ったゲノム編集の規制とは《環境への影響・食の安全安心》 A4版 頒価1,000円 2019年3月発行</p> <p>シンポジウム「ゲノム編集に規制は必要か」2018年9月29日 シンポジウム「ゲノム編集と食の安全・安心」2019年2月10日</p> <p>目次 はじめに／第1部ゲノム編集とは・「ゲノム編集とはどんな技術なのか」山本卓／「ゲノム編集食品とはどんなものか」木下政人、第2部・環境への影響について・「ゲノム編集で何がかわるのか」宮田満／「遺伝子組換え(GM)作物の規制コンセプトとゲノム編集作物」石井哲也／「日本社会でのゲノム編集作物をめぐる議論」荒木涼子／「私の置賜自給圏」菊地富夫／「消費者の視点から」吉森弘子／9月パネルディスカッション／「コーディネーターから見たゲノム編集シンポジウム」石堂徹生／「質問への回答」、第3部食の安全・安心について・「肉が厚くなるマダイの開発について」木下政人／「ゲノム編集由来食品～安全から安心へつなぐもの」石井哲也／「消費者の視点から見たゲノム編集と食」吉森弘子／2月パネルディスカッション／「質問への回答」</p>	
7	<p>種子法廃止後のたねのゆくえ A4版 頒価1,000円 2018年9月発行</p> <p>たねと食とひと@フォーラム2018年度総会 2018年6月23日開催 主要農作物種子法廃止後の全国の状況(2018年9月25日現在)</p> <p>目次 基調講演「食糧主権と地域の産業・食料・生活を守る視点」久野秀二京都大学教授／課題報告1「兵庫県～主要農作物種子生産条例成立の背景について」寺尾勇人／課題報告2「新潟県～種子法廃止の現場より」堀井修／三井化学アグロ取材記録／パネルディスカッション／会場からの質問への回答／都道府県調査結果</p>	
8	<p>ゲノム編集で食と農はどうなるのか A4版 頒価500円 2017年10月発行</p> <p>たねと食とひと@フォーラム2017年度総会 2017年6月17日開催 講師 大塚善樹東京都市大学環境学部教授</p> <p>目次 ゲノム編集とは・遺伝子組み換えによる非遺伝子組み換え／科学技術の見方・GMO自体?ゲノム編集自体?ネットワークとしての科学技術／食はどうなる?・食の安全・表示 食の供給・価格／農はどうなる?・農業生態系-カルタヘナ議定書 農業者とバイオメジャー／まとめと今後の展望・科学技術の倫理</p>	
9	<p>絵本『たねがいのちをつなぐ』～知って選ぼう 遺伝子組み換え作物と食品～ A5版 頒価300円 2017年10月発行</p> <p>《付録》トウモロコシ・大豆加工品樹形図 監修:西川芳昭龍谷大学経済学部教授(農業・資源経済学)</p>	